

取扱説明書

完全ワイヤレスイヤホン

Ver. 1.0
型番: GRFD-TWS QT26



もくじ	ページ
安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	4
充電のしかた	5
使いかた	6
使いかた(パソコンで使う)	11
使いかた(オンライン会議で使う)	13
Bluetoothについて	14
故障かなと思ったら	15
お手入れ	16
本商品の防水性能について	16
商品仕様	17
抗菌仕様について	18
リチウム電池のリサイクルについて	18
保証書・保証規定	19

- この度は 完全ワイヤレスイヤホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上の注意」、「充電のしかた」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることのできる場所に保管してください。
- 保証書はこの説明書の19ページに載っています。レシートとともに保管してください。

この商品は日本国外でのアフターサービスは出来ません。
No service is available outside of Japan.

安全上の注意 必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

■絶対に分解したり、改造しない



火災・感電の原因になります。

■火の中に投入したり、加熱しない



破裂による火災・けがの原因になります。

■水につけたり、水をかけない



感電・故障の原因になります。

■本商品内蔵の電池が液漏れした場合は直ちに使用を中止する



発火・炸裂の原因になります。

■本商品内蔵の電池の液が目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師に相談する



失明などの原因になります。

■本商品やケーブルの充電用端子に液体やホコリなどが付着しないように清掃する



発熱・発火・やけどの原因になります。

■運転中は使用しない



自動車、オートバイ、自転車などの運転中はイヤホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対にお止めください。交通事故の原因になります。

■周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない



踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは周囲の音が聞こえないと危険です。事故やけがの原因になります。

■異常・故障時は直ちに使用を中止する



液漏・発火・炸裂の原因になります。

■雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない



感電の原因になります。

■充電中の異常(充電しない、以前より熱くなる、本体が変形したなど)発生時は直ちに使用を中止する



直ちに使用を中止し、ゲオお客様サポートセンターにご連絡ください。

安全上の注意 必ず守ること

注意

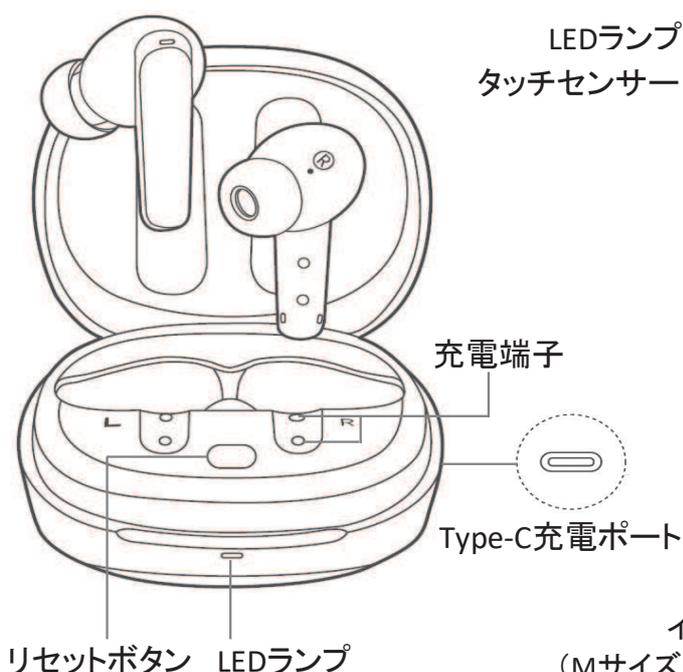
- 本商品に強い衝撃や圧力を加えない
 -  液漏・発火・炸裂の原因になります。
- 油煙、湯気、湿度、ほこりの多い場所で使用しない
 -  火災・感電・故障の原因になります。
- 医療機器の近くで使わない
 -  電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。
- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す
 -  電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。
- 航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う
 -  電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。
- 大音量で長時間連続使用しない
 -  聴力障害などの原因になることがあります。
- 使用開始時はボリュームを下げてから装着する
 -  突然大きな音が出て、耳をいためる原因になります。
- 商品仕様の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は、充電を中止する
 -  液漏・発火・炸裂の原因になります。
- 直射日光が強いところ、炎天下の車内での使用や保管をしない
 -  破損・発熱の原因になります。
- 本商品を温度の高くなるストーブ・コンロなどの近くに置かない
 -  液漏・本体の変形の原因、寿命が短くなることがあります。
- 小さなお子様の手が届かないところに保管する
 -  誤飲など思わぬ事故をまねくことがあります。
- USBケーブルを抜くときはケーブルを持たずに必ずプラグを持って引き抜く
 -  ケーブルを持って抜くと断線や故障の原因になります。
- 充電中は、本商品および充電ケーブルの周りに物を置かない
 -  感電・ショートの原因になります。
- 充電ケースを他の商品に使用しない、イヤホン以外のものを入れない
 -  感電・火災・ショート・故障の原因になります。
- イヤホンおよび充電ケースにキャッシュカードなどの磁気カードを近づけない
 -  本商品に内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれる可能性があります。
- 安全のため、カーチャージャーで充電する際は本商品の充電ポートに充電ケーブルを接続した状態のまま車のエンジンをかけないでください。必ず、エンジンをかけた後に接続してください。
 -  破損・発熱の原因になります。

使用上の注意

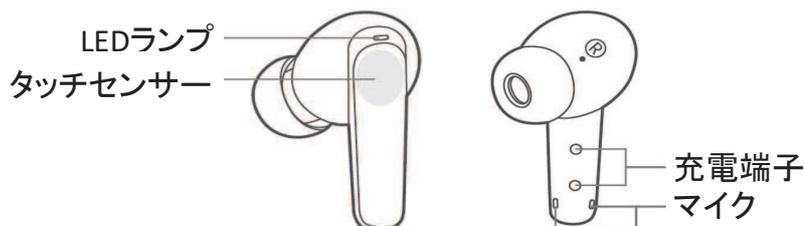
- 本商品の使用に関して、お使いの機器のメモリー内容が消去されても保証は一切いたしません。あらかじめご了承ください。
- 補聴器、ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器に影響を与えるおそれがあります。誤動作による故障や事故の原因になりますので、本商品を近くでは使用しないでください。
- 交通機関や公共の場所では音量に注意し、周りの方の迷惑にならないようにしてください。
- 本商品の使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- 本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品を使用せず、長期間保管した場合、バッテリー性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復します。
- 本商品は国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本商品を使用した場合、罰せられることがあります。
- 長期間使用しない場合はバッテリーの自己放電による劣化を防ぐため、数ヶ月に一度を目安に充電してください。
- バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は特性であり故障ではありません。また、交換できません。

各部の名称

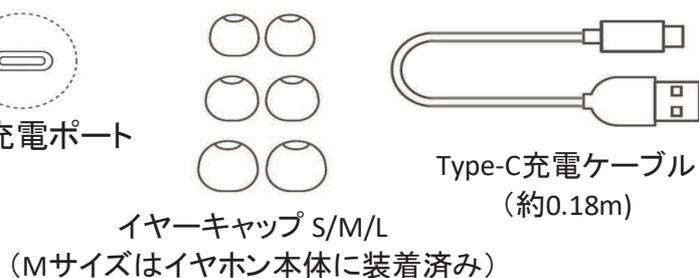
充電ケース



イヤホン本体



付属品



充電のしかた

初めてお使いになる前に本商品を満充電してからご使用ください。

イヤホンの充電

イヤホンをケースに収納すると充電を開始します。

電池容量が低下すると警告音が聞こえますので、充電してください。

充電中はイヤホンのLEDランプが赤く点灯し、満充電されると白に変わります。約30秒後に自動的にLEDランプが消灯します。

- 充電中はケースのフタを閉めてください。
- ケーブルおよびイヤホンの充電端子(P.4)が汚れていると、充電できない場合があります。充電端子が汚れている場合は柔らかい布や綿棒、ブラシなどで汚れを取り除いてください。
- 汚れがひどい場合は、アルコール系のウエットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

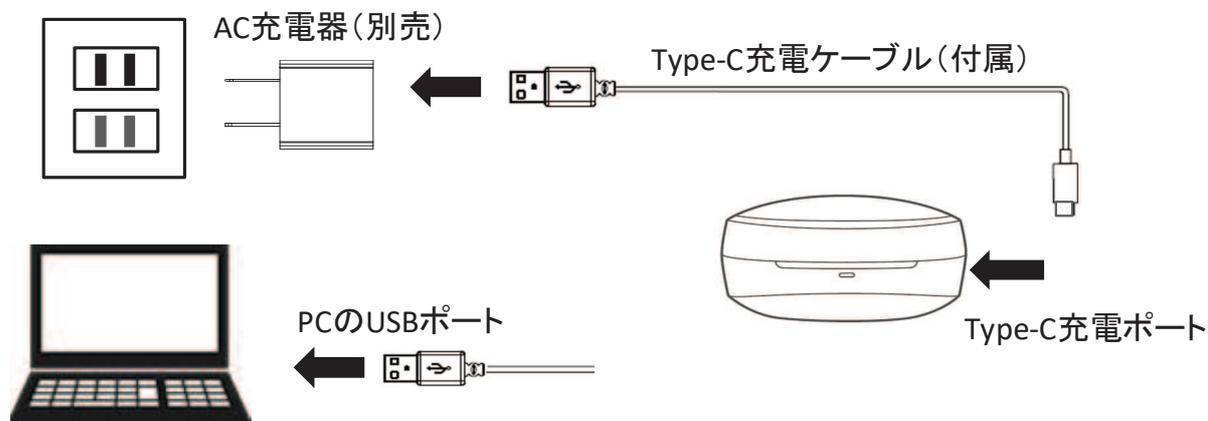
ケースの充電

ケースにイヤホンを収めたときにケースのバッテリー残量が十分にある場合は、ケースのLEDランプが約5秒白に点灯します。バッテリー残量が少ない場合は、ケースのLEDランプが約5秒白に点滅します。

USB規格に適合したパソコンについているUSBポートやUSBポートのあるAC充電器と付属のType-C充電ケーブルを使用して充電してください。

充電中は、LEDランプが赤に点灯します。満充電になるとLEDランプが白の点灯に変わりますので、ケーブルを外してください。

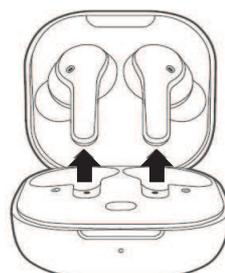
- 本充電ケースはPD対応AC充電器でも充電できます。ただし、急速充電には対応していません。



使いかた

イヤホンを取り出す

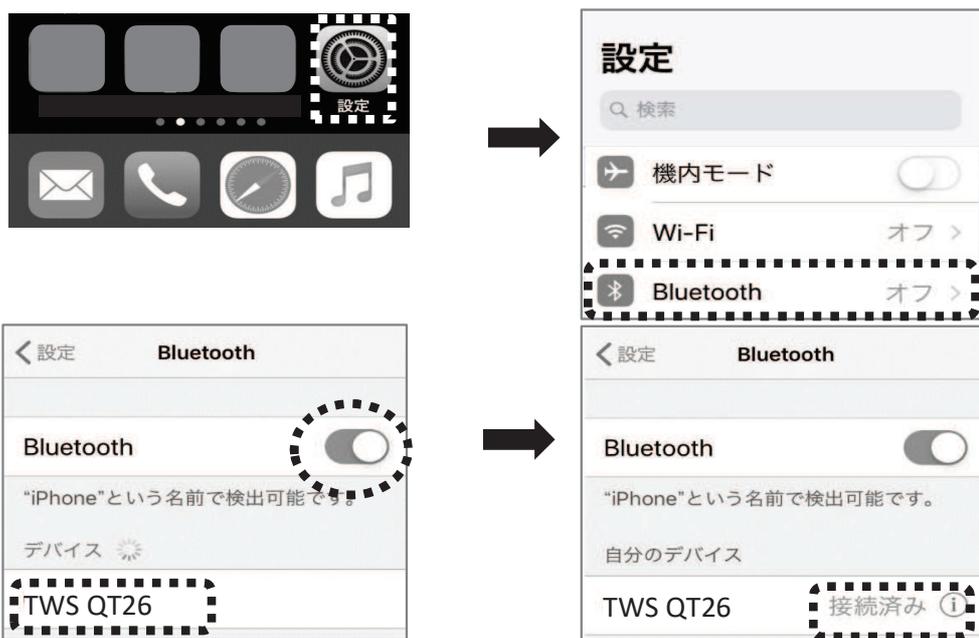
イヤホンはケースにマグネットで固定されています。
イヤホンを上に引き出してください。



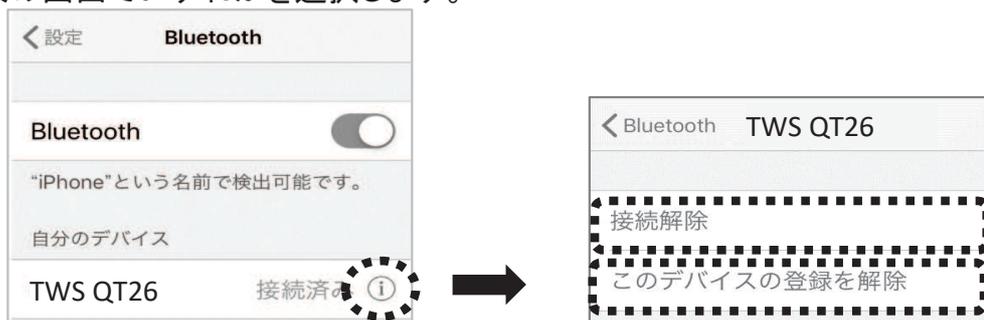
ペアリング

1. ケースから左右のイヤホンを取り出すと、イヤホン同士が自動的にペアリングされます。
2. いずれかのイヤホンが親機となり、LEDランプが白に点滅し、もう一方のLEDランプが白に点灯します
3. スマートフォンの設定から、Bluetoothを立ち上げます。
4. 検索されたデバイスの一覧から「TWS QT26」をタップします。接続するとLEDランプが消えます。
 - Android端末でデバイス一覧に「TWS QT26」がない場合は、スキャンをタップしてください。
 - 接続がうまくいかなかった場合は、スマートフォンのBluetooth接続を解除して、最初からやり直してください。

iPhoneでの参考例



- Bluetooth接続を解除したり、登録を削除したい場合は、デバイス名の右をタップして次の画面でいずれかを選択します。



使いかた

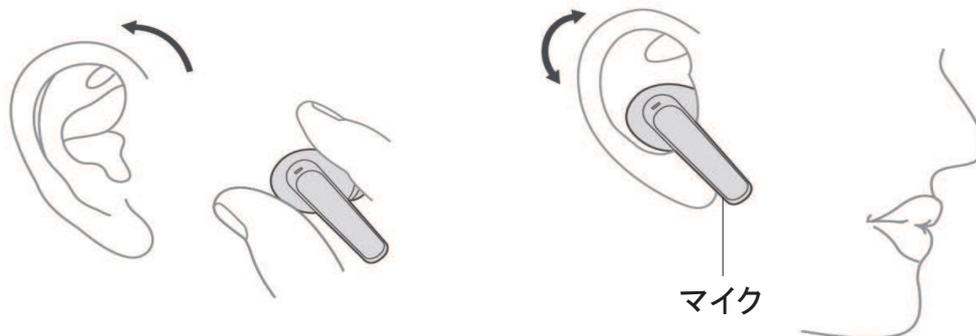
ペアリング(続き)

5. 使用後はイヤホンをケースに戻してフタを閉じてください。Bluetoothがオフになり、自動的に充電を開始します。イヤホンの電源はオフになります。
- Bluetoothが未接続の状態ではイヤホンをケースに戻さずに約5分間使用しないと、自動的に電源オフになります。Bluetoothが接続状態でイヤホンをケースに戻さずに放置した場合は自動的に電源がオフになりません。
 - 2回目以降のご使用ではイヤホンをケースから取り出すと、最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。

イヤホンの装着

耳のくぼみにあわせて軽く回して装着します。

- タッチセンサーに触れないように、イヤホンの下の方を持って装着してください。
- 頭を軽く振ってみてしっかり装着されたかを確認してください。しっかり装着しないと耳から外れて脱落や紛失のおそれがありますので、ご注意ください。
- 髪の毛、イヤリングなどがタッチセンサーに触れ続けないようにしてください。
- 左右を間違えないように装着してください。
- マイクがある部分を口元に向けてください。



片耳で使う

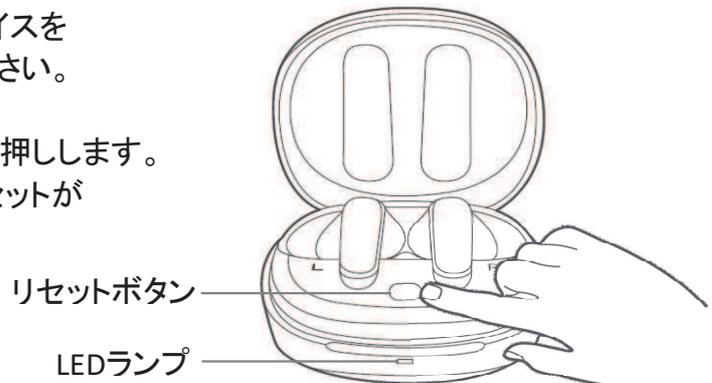
1. 左右いずれかのイヤホンをケースから取り出すと、LEDランプが白に点滅して、Bluetoothペアリングモードになります。
 2. スマートフォンの設定からBluetoothを立ち上げます。
 3. 検索されたデバイスから、「TWS QT26」をタップしてください。
- 両耳でペアリング、Bluetooth接続をした後に片耳で使用する場合は、2～3の設定は必要ありません。
 - 左右いずれかのイヤホンを片側使用中に、もう一方のイヤホンをケースから取り出すと自動的にペアリングされ、両方から音が聞こえるようになります。
 - 2つのイヤホンが同じBluetoothの通信範囲内であれば、ペアリングが優先されますが、通信範囲外であれば、それぞれのイヤホンは別々のBluetoothデバイスと接続して単独に使用することができます。

使いかた

リセットする

接続がうまくいかない場合や初期状態に戻したい場合は、以下の手順に従ってイヤホンのリセットしてください。

1. スマートフォンのBluetooth設定でデバイスを削除してからBluetoothをオフにしてください。
2. イヤホンを充電ケースに収納します。
3. 充電ケースのリセットボタンを約10秒長押しします。イヤホンのLEDランプが5回点滅してリセットが完了します。
4. イヤホンをケースから取り出してペアリングをやり直してください。



その他の機能

電源を入れる

イヤホンの電源を入れるには2つの方法があります。

方法1: イヤホンが充電ケースに入っている場合は、ケースから取り出すと自動的に電源が入ります。

方法2: イヤホンが充電ケースの外にあり電源がオフの場合は、両方のイヤホンのタッチセンサーに約2秒触れると効果音が聞こえて電源が入ります。

電源を切る

イヤホンをケースに収納すると自動的にイヤホンの電源が切れます。

着信応答

着信時にタッチセンサーを2回タップすると着信に応答できます。

通話を終了する場合はタッチセンサーを2回タップします。

着信拒否

着信を拒否する場合は、着信時にタッチセンサーに約1.5秒触れます。

再生／一時停止

音楽再生中にタッチセンサーを2回タップすると一時停止します。もう一度2回タッチセンサーをタップすると一時停止が解除されます。

使いかた

曲送り／曲戻し

音楽再生中に右イヤホンのタッチセンサーに約1.5秒触れると曲送りします。
音楽再生中に左イヤホンのタッチセンサーに約1.5秒触れると曲戻しします。

音声アシスタント

左イヤホンのタッチセンサーを3回タップすると音声アシスタント(Siriなど)が立ち上がります。
音声指示してください。
音声指示しないで一定の時間経過すると元のモードに戻ります。

低遅延モード

低遅延モードでは、動画視聴の際に発生する映像と音のズレが低減されるので、ゲームや動画を楽しむのに適しています。
右イヤホンのタッチセンサーを3回タップすると「Game mode」(ゲームモード)と音声聞こえて低遅延モードに切り替わります。もう1度右イヤホンのタッチセンサーを3回タップすると「Exit game mode」(イグジットゲームモード)と音声聞こえて、通常モードに戻ります。

●低遅延モードでは、通信距離が通常モードより短くなります。

マルチポイント

2台のデバイスのペアリングを登録しておくので、ペアリングをやり直すことなく、接続を切り替えることができます。

1. ペアリングの手順に従って、1台目のデバイスをBluetooth接続します。
2. 1台目のデバイスのBluetooth接続を解除します。
3. ペアリングの手順に従って、2台目のデバイスをBluetooth接続します。
4. 1台目のデバイスのBluetoothを接続します。
これで2台のデバイスが接続状態になります。

2台のスマートフォンを登録した場合は、2台とも待受け状態になるので、どちらのスマートフォンに着信があっても、本商品で応答することができます。

2台のスマートフォンに同時に着信があった場合は、最初にペアリングしたスマートフォンの着信が優先になります。

●スマートフォンとノートPCをマルチポイントで登録した場合、切り替えたときにノートPCの接続が切れることがあります。

使いかた

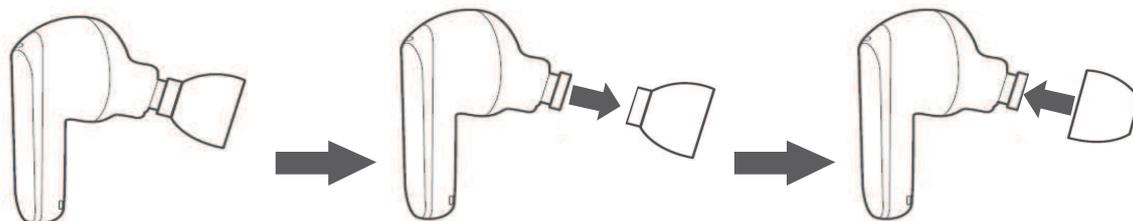
その他

音楽再生中にBluetooth通信可能範囲外に出て接続が切断されると、信号音が聞こえます。5分以内に範囲内に戻ると信号音が聞こえ、自動的にBluetooth接続を復旧します。スマートフォンの音楽再生をタップするかイヤホンのタッチセンサーを2回タップすると再生が再スタートします。

- マルチポイント機能使用時は自動的に接続されない場合があります。

イヤークリップの交換

- 本商品には3種類(S/M/L)のイヤークリップが付属しています。耳に合ったサイズを選んでご使用ください。最初に本体にはMサイズが装着されています。
- イヤークリップが確実に固定されていないと、使用中に外れて耳の中に残る場合があります。確実に固定されていることを確認してください。



使いかた(パソコンで使う)

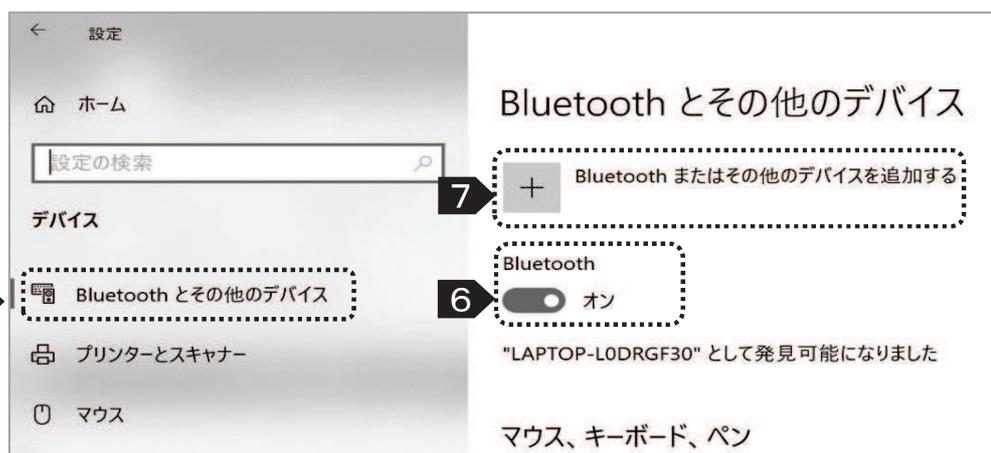
パソコンで使う

Windows 10の場合

1. ケースから両方のイヤホンを取り出すと、イヤホン同士が自動的にペアリングされます。
2. パソコン画面の左下のWindowsマークをクリックして、スタートメニューを立ち上げます。
3. 「設定」をクリックします。
4. 「デバイス」をクリックします。



5. 「Bluetoothとその他のデバイス」をクリックします。
6. Bluetoothがオンになっていることを確認してください。
7. 「Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する」をクリックします。

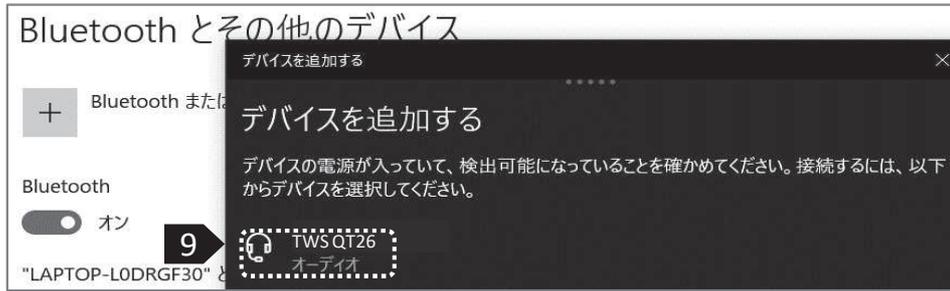


8. 「デバイスを追加する」の画面が表示されるので、「Bluetooth」をクリックします。



使いかた(パソコンで使う)

9. 「TWS QT26」をクリックします。



10. 接続が完了すると、パソコンに右の画面が表示されますので、「完了」をクリックしてください。

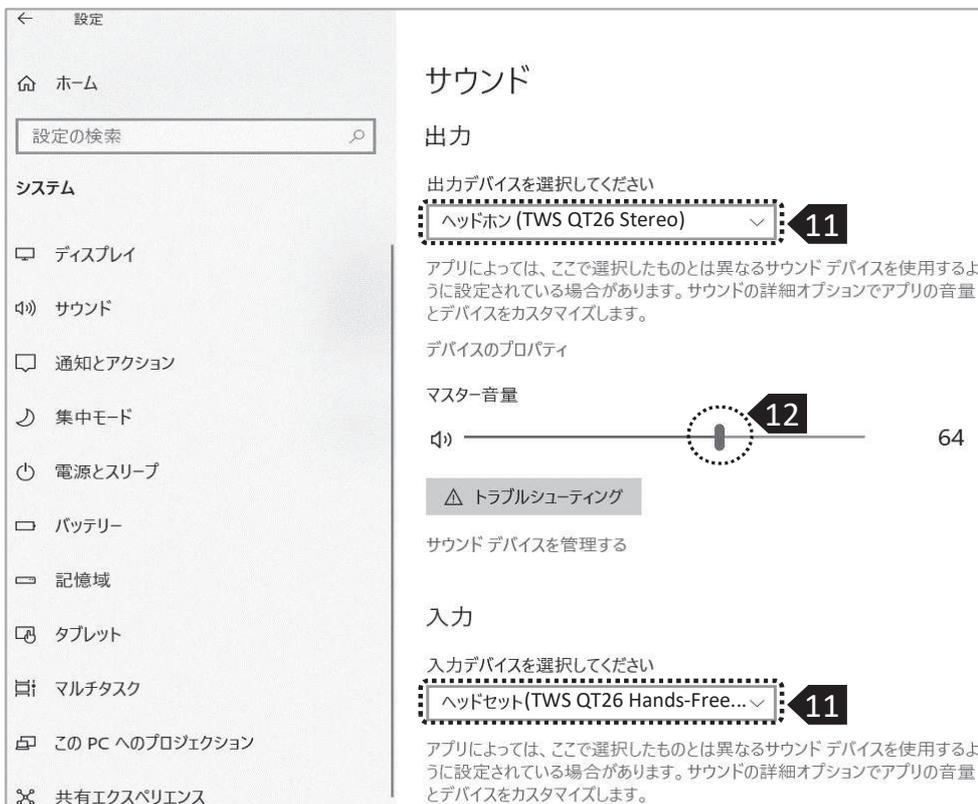
- 5分以内に接続を完了してください。
- 5分以上経過してしまった場合や接続がうまくいかなかった場合は、最初からやり直してください。
- 「TWS QT26」の下に「音声、音楽に接続済み」と表示されていることを確認してください。「音楽に接続済み」の場合はマイクが認識されていないので、接続をやり直してください。



11. 音が出ない場合は、パソコンのマイクおよびスピーカーの設定を調整します。パソコンの左下のスタートボタンから「設定」→「システム」→「サウンド」をクリックします。出力と入力で「TWS QT26」を選択します。

12. 必要に応じてマスター音量をスライドさせて調整します。

- パソコンによっては、接続時の初期音量が大きくなる場合がありますので、ご注意ください。



使いかた(オンライン会議で使う)

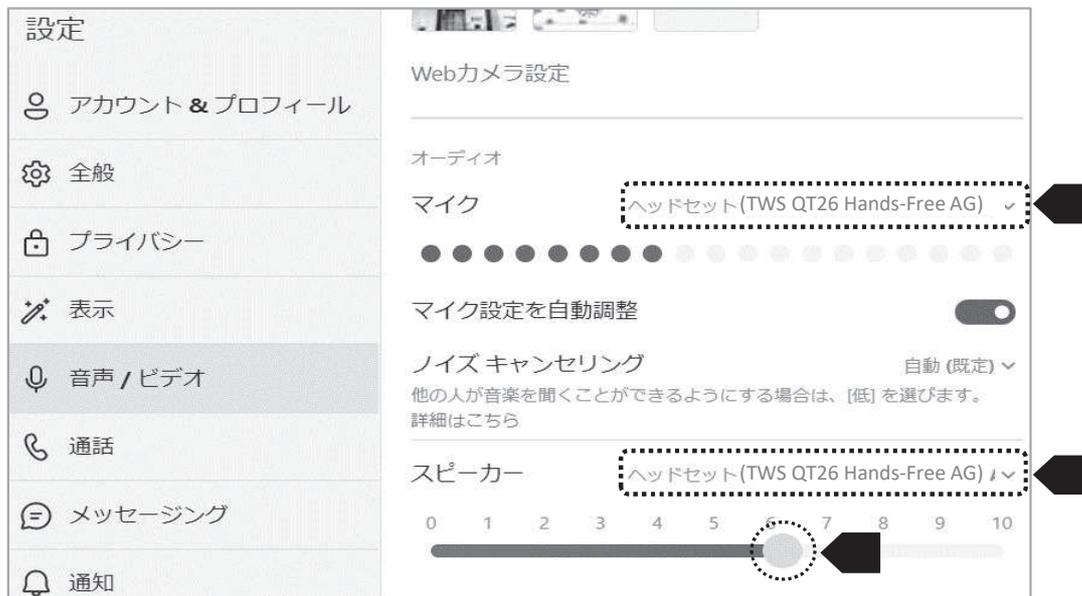
オンライン会議で使う

ビデオ通話やオンライン会議で使用する場合は、アプリ内のマイクやスピーカーの設定が必要になります。

- 使用するアプリによって設定方法が異なりますので、各アプリの使い方をよく確認してください。

Skypeの場合

「設定」→「音声/ビデオ」と選択して、マイクとスピーカーを「TWS QT26」に設定してください。必要に応じてスピーカーの音量をスライドさせて調整してください。



Google Meetの場合

「設定」→「音声」と選択して、マイクとスピーカーを「TWS QT26」に設定してください。



使いかた(オンライン会議で使う)

Zoomの場合

「設定」→「オーディオ」と選択して、マイクとスピーカーを「TWS QT26」に設定してください。必要に応じてスピーカーの音量をスライドさせて調整してください。



Bluetoothについて

- Bluetooth通信の通信範囲は約10mですが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合は、無線LAN機器の電源を切るか、10m以上離れた場所でご使用ください。
- Bluetooth対応商品の音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続した場合、音楽や音声途切れることがあります。
- 本商品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本商品は電波法に基づく技術基準に適合していますので、無線局の免許は不要です。ただし、本商品を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本商品での再生が遅れるため動画視聴時やゲームでのご使用の場合、映像と音声はずれる場合があります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるまで時間がかかることがあります。
- 屋外にてご使用になる場合、Bluetoothの機能は信号のある交差点、大型駅構内、電車の高架線付近など、電波の状況によって途切れたりつながらない場合があります。

故障かなと思ったら

電源が入らない

- イヤホンの電池残量が低下しています。ケースにセットして充電してください。
- ケースの電池残量がない場合は、イヤホンを入れた状態でケースを充電してください。

充電できない

- ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4を参照)をご確認ください。
- 充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。汚れがひどい場合はアルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

Bluetoothデバイスとペアリングできない

- 接続するBluetoothデバイスが使用可能な状態であることを確認してください。
- 接続するBluetoothデバイスが本商品のプロファイルに対応しているか確認してください。
- Bluetoothデバイスの設定でBluetoothをオフにしてから再度オンする、または登録を削除してから、やり直してください。
- リセット(8ページ「リセットする」を参照)してから、ペアリングをやり直してください。
- 本商品とBluetoothデバイスを近づけてからペアリングしてください。
- Bluetoothデバイスが他の機器とBluetooth接続している場合は解除してから、本商品とペアリングしてください。

ノイズやエコー音が入る

- Bluetoothデバイスとの間に障害物がないか確認してください。
- Bluetoothの通信範囲内(約10m)にあるか確認してください。
- 通信が干渉される可能性のある無線LANのそばで使用している場合は、無線LANをオフにするか、10m以上離れた場所で使用してください。

通話相手に自分の声が聞こえない

- スマートフォン、PC、タブレットがBluetooth機能を搭載し、HFP・HSPiに対応している必要があります。ご使用の接続機器やソフトの環境により、マイク入力を手動で設定する必要がありますので、それぞれの設定をご確認ください。また、対応しない場合がございますので、ご了承ください。ご使用できない場合は、有線イヤホンを推奨いたします。

お手入れ

イヤホン・ケース

汗や水が付着したままにしておくと、充電ができなくなる原因となりますので、ご使用後は速やかにふき取ってください。

- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞りお使いください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤・洗剤を使用しないでください。
- 本商品を水や石けんで洗わないでください。
- ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4)が汚れていると、充電できない場合があります。充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。
- 充電端子の汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。
- 本商品のプラグやポートにホコリなどがたまらないように定期的にお手入れしてください。ホコリがたまるとショートして発煙、発熱の原因になるおそれがあります。

イヤークャップ

- イヤホンからキャップを外し、薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてから取り付けてください。

本商品の防水性能について

イヤホン本体

本商品のイヤホン本体は、防水規格IPX5相当の仕様となっています。いかなる方向からの水の直接噴流によっても有害な影響を受けません。防水性能は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。

- 完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください
- 故意に流水を浴びせたり、水没させないでください。
- 本商品を水や石けんで洗わないでください。
- お風呂やシャワーでの使用は推奨していません。
- イヤホンについた汗、雨水、海水などをよくふき取ってください。
- お客様の誤った取り扱いにより水の侵入で故障した場合は保証対象外となります。

充電ケース・充電用ケーブル

本商品に付属する充電ケースおよび充電ケーブル類は防水仕様ではありません。

- 水がかかる恐れがある場所で使用しないでください。

商品仕様

商品向上のため、仕様は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

商品仕様	イヤホンタイプ	カナル型
	イヤホン本体質量(片耳)	約4.0g
	使用温度範囲／湿度範囲	5～40℃ 20～80%(ただし結露なきこと)
	抗菌仕様	抗菌効果99%抗菌コート加工 (イヤークリップ)
ヘッドホン部	ドライバー型式	ダイナミック型
	ドライバーサイズ	φ7.2mm
	音圧感度	100dB
	インピーダンス	16Ω
	防水規格	IPX5
	再生周波数帯域	20Hz～20kHz
マイクロホン部	マイク感度	-38dB
通信仕様	Bluetooth	Ver.5.3
	対応プロファイル	HFP, AVRCP, A2DP
	対応コーデック	SBC
	使用周波数帯域	2.4GHz帯
	受信距離／送信出力	約10m／Class 2
ヘッドホン部 その他	イヤホン本体バッテリー量(片耳)	45mAh
	連続音楽再生時間(※1)	約8時間
	連続通話時間(※1)	約4時間
充電仕様	充電電圧	DC5V
	イヤホン本体充電時間	充電ケースでの充電:約2時間 ※充電ケースが満充電の状態、最大3回まで充電可能
	充電ケース充電時間	約2時間
	充電ケース内蔵バッテリー量	350mAh
	充電ケースサイズ(W x D x H)	54.8 x 53.4 x 29.8mm
	充電ケース質量	約33.4g
	充電ポート	Type-Cポート

商品仕様

機能一覧	低遅延モード	○
	ノイズキャンセリング	ENC (Environmental Noise Cancellation)デュアルマイク DNS (Deep Noise Suppression)
	音声アシスタント	Googleアシスタント/Siri
	ハンズフリー機能	○
	オート電源オン	○
	自動ペアリング	○
	左右独立接続	○
	マルチポイント	○
付属品	イヤークャップ	S/M/L (Mサイズは本体に装着済み)
	充電ケーブル	充電用Type-Cケーブル(約0.18m)
	取扱説明書兼保証書	保証期間1年

(※1)使用時間は50%音量の条件にて算出、接続するBluetooth機器との距離が長い場合など、消費電力が増加するために通話/再生時間が短くなる場合があります。

本商品は工事設計認証を受けています。

  210-225113

抗菌仕様について

本商品は、抗菌効果99%の抗菌剤を使用し、抗菌コート加工してあります。
この抗菌加工により、細菌の増殖を抑え、清潔にお使いいただけます。

【抗菌コート加工箇所】イヤークャップ

注意：●抗菌とは商品表面における細菌の増殖を抑える状態を示し、これにより感染などを完全に防止するものではありません。

●抗菌性能を発揮させるために、商品の表面は清潔な状態を保ってください。

リチウム電池のリサイクルについて



Li-ion

この商品にはリチウムイオン電池が使用されています。不要になりました電池は廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。希少資源を有効に活用するため、リサイクルにご協力ください。



詳細はここから